

4月1日～
自然エネルギーで池(旧河川)をきれいに
水郷公園で水力活用発電装置が稼働中



平成4年設置の水郷公園の水車に、新たに水力発電装置が取り付けられ、4月から稼働しています。

設置当初は観賞用だった水車ですが、敷地内の池の水質悪化が問題となり、水質改善を目的として町が独自に発電装置を開発。およそ60万円をかけて設置されました。

水車の回転により1時間で約207kWhを発電しています。その電力で1日1回水門を開閉し、池の水を放出する仕組み。水流が生まれることで、池の底に溜まった落ち葉や土砂がヘドロ化することを防ぎます。今後、余電量があれば園内の街灯に活用することも検討しています。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけてください。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

北海道命名150年

武四郎講座・第3回
「北加伊道・松浦武四郎のエゾ地探検」
が生まれるまで



関谷敏隆さんの講演会(公民館)の様子

斉藤敬子さんの講座の様子

北海道150年の記念事業として、5月11日、町公民館でチームくつしやろの斉藤敬子さんによる「武四郎講座・第3回」(160年前の屈斜路湖畔にて)が行われました。

久摺日誌の記述をもとに松浦武四郎の功績をたどる同講座。今回は道にまつわるストーリーとして、昭和41年ころまで地元住民たちが利用していた、屈斜路コタンから池の湯までの旧道を、武四郎が屈斜路を訪れた時のエピソードと共に紹介しました。

また、14日には奥春別小学校(小原正寿校長)の体育館に同校、和琴小学校、美留和小学校の児童らが集まり、3校による集合授業を実施。絵本作家・型染版画家の関谷敏隆さんが講師を務め、絵本「北加伊道・松浦武四郎のエゾ地探検」を題材に北海道の歴史と松浦武四郎の功績を分かりやすく紹介。子どもたちは熱心に聞き入り、「北海道のことがもつと好きになった」と話していました。

関谷さんは同日夜にも、町公民館で「絵本『北加伊道・松浦武四郎のエゾ地探検』ができるまで」旅の大師匠 松浦武四郎殿に惚れて」と題した読書活動講演会を開催。自らの人生と旅のこと、北海道や武四郎との出会い、絵本が生まれるまでを紹介。旅の途中で出会いの人生を変えた一曲である「しれとこ旅情(森繁久彌)」を披露したりとユーモアたっぷりの講演会に、参加者の皆さんは楽しそうに聞き入っていました。

5月19日
貴重な固有種を守るために
カワユエンレイソウの分布調査を実施



川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが5月19日、カワユエンレイソウ分布調査を行いました。

川湯地域の固有種であるカワユエンレイソウの個体数の変化を調査し、今年で3年目。区画内で生物相を調査するコードラート法で、カワユエンレイソウ、オオバナノエンレイソウ、ミヤマエンレイソウ、そして花無しエンレイソウの個体数を調査。やや減少という結果となりましたが、今後も貴重な固有種の調査を継続的に行っていく予定です。

5月9・24日
みんながって、みんないい
人権教室を実施 | 川湯小・奥春別小



24日には奥春別小でも実施

釧路人権擁護委員協議会の人権教室が5月9日、川湯小学校(川島眞澄校長)で行われました。

当日は同協議会子ども人権委員長の宇野健二氏と町の人権擁護委員が講師を務め、全学年の生徒を対象に実施。1、2年生のクラスでは「友だちのいいところ探し」のゲームでお互いのいいところを見つけ合い、DVD教材「みんなともだち」を鑑賞。飛べないという短所でいじめられていたペンギンが、優しい心と泳げるといふ長所を認められ仲間をつくるおはなしに、子どもたちからは「いじめはいけないうこと」「自分も困っている友達は助けてあげたい」という声が聞かれました。

5月25日～27日
大きく育てて帰っておいで
町営牧場に若牛が入牧



町営牧場に到着した牛たち

5月25日～27日の3日間の日程で、町内の酪農家で育てられた若牛が町営牧場・900草原へ入牧しました。

家畜車で各農家から運ばれてきた牛たち。牧場へ到着すると、体重測定や個体写真の撮影、消毒などを受けた後、広々とした牧場へ放牧されました。

今年は1,179頭もの牛が入牧。これから10月末まで、栄養豊かな牧草を食べ、起伏のある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して畜主のもとへ帰ります。

5月20日
日頃の訓練の成果を発揮
釧路北部消防事務組合が総合演習



模擬火災訓練では、はし車も活躍

第44回釧路北部消防事務組合総合演習が5月20日、役場駐車場で行われました。

演習には、同組合に所属する弟子屈町、標茶町、鶴居村の職団員約180人と車両8台が参加。観閲式や分列行進などを行いました。引き続き行われた模擬火災訓練では、役場庁舎の火災を想定。職団員が一丸となって火災防衛活動を展開しました。

町の話題



グループごとに担当コースを歩きながら清掃

2日には、町主催の「摩周湖クリーンウォーク2018」が、町内各地の国道や道道、町道沿いで行われました。

摩周湖周辺の環境保全対策や自然の番人宣言事業、シーニックバイウェイ弟子屈エリアの活性化事業の一環として行われているもので、今年で13回目。一般参加の町民の方や小中学生のほか、事業所などから総勢648人が参加しました。

参加者は市街地や川湯温泉などの15コースをウォーキング。タバコの吸い殻や時には大きな段ボールなどのごみも220kg集めました。



町の話題

自然を未来へ

弟子屈町植樹祭
摩周湖クリーンウォーク2018

平成30年度弟子屈町植樹祭(森林貯金箱) (主催:町) 弟子屈町 緑化推進委員会(会長:徳永町長)が6月1日、旧泉ソフトボール場で行われました。緑のふるさとづくりを目的に、毎年開催されています。

当日は自治会関係者のほか、弟子屈小学校の6年生33人も参加。およそ70人が美しい花を咲かせるのを期待し、エゾヤマザクラとニトリザクラ合わせて97本を植樹しました。



大きく育てと願いを込めて

6月4日

うまく育てて実も楽しみたい 果樹の苗木を無料配布



苗木の無料配布会が6月4日、役場前と川湯支所前で
行われ、多くの人でにぎわいました。
町内の緑化推進のために毎年行
われています。今回配布されたのはプラム、クラブアップル、
ハスカップ、ブルーの4種で、計100本が用意されました。
当日は天気もよく、訪れた皆さんはじっくりと選定し、お
気に入りの苗木を見つけて持ち帰りました。
会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力
していました。

6月3・12日

町中が花いっぱい 町内各地で花植え運動



日の出自治会(塩沢紀雄会長)の皆さんが6月3日、国道391号から摩周駅前に向かう交差点のロータリーで花壇への植栽を行いました。同自治会が毎年行っているもので、およそ30人が参加。約2千株を丁寧に植えました。12日には、摩周フラワーマスター協会(渡邊昇会長)の皆さんが、役場庁舎前と役場駐車場入り口の花壇に植栽を行いました。同協会が毎年行っているもので、今年が最後の実施。総勢16人で、およそ570株を手際よく植えました。

5月25日

楽しみながら音楽を学ぼう！ 教育大旭川が音楽教育コンサート | 和琴小



道教育大学旭川校の芳賀均研究室の皆さんによる音楽教育コンサート『道北おとほけキャラバン 道東編』が5月25日、和琴小学校(齋藤超校長)体育館で行われました。同研究室は、平成26年から道内各地を巡り地域貢献としての音楽演奏を多数開催しています。同学講師の芳賀均氏と7人の研究生に加え、ゲストに同学非常勤講師でヴァイオリニストの早川きよーじゅが登壇し、コンサートを盛り上げました。出演者による演奏の披露のほか、音楽を楽しみながら学べるミニゲームも実施。大盛り上がり演奏会でした。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

6月7日

JR釧網本線の存続にむけて協議 高橋知事が本町関係者との意見交換会を開催



広域観光を支える釧網本線の可能性をテーマにした意見交換会が6月7日、摩周観光文化センターで行われ、出席した高橋はるみ北海道知事が、町内関係者らと摩周駅から川湯温泉駅まで釧網本線に乗車しました。来町したのは、知事のほかJR北海道の西野史高副社長や北海道運輸局斎藤敬一郎交通政策部長などで、知事は「釧網本線の手つかずの自然が実感でき、地域の方々との出会いやお話が聞けて有意義だった。存続の可能性は十分にある。今後、皆さまと知恵を出していきたい」と話されました。

6月6日

悲惨な事故を防ごう 川湯で旗の波による街頭啓発



交通事故の多発が予想される夏期を迎え、川湯温泉駅前通りと国道391号が接する交差点周辺で6月6日、旗の波街頭啓発運動が行われました。川湯での開催は2回目。川湯交通安全指導員会が主催し、当日は弟子屈警察署や川湯自治会関係者なども含め15人が参加。該当道路付近は大型車両の通行も多く、観光客の流入が増加する夏季は特に注意が必要です。参加者は安全旗を手に、国道351号を往来する走行車両などのドライバーに交通安全意識の向上を訴え、交通事故防止の徹底を図りました。

5月28日

人々が集う、まちの玄関口を目指して 南弟子屈地域活性化協議会定期総会を開催



南弟子屈地域活性化協議会の平成30年度定期総会が5月28日、旧昭栄小学校で開催されました。総会では、同協議会規約の改正について承認された後、平成29年度事業報告、収支決算報告および監査報告について報告がなされ承認されました。後半には平成30年度事業計画案、収支予算案について協議が行われ、平成29年度までに取り組んできたライダーハウス運営、特産品開発、酪農体験ツアー、レンタルスペースの4つの活動について、課題を解決しながら営業利益を増やし、事業化に向けた取り組みを実施することで決定されました。

5月26日・27日

弟子屈を満喫する自転車長距離イベント グランfond摩周におよそ250人が参加



5月26・27の両日、第6回グランfond摩周(同実行委員会主催)が開催されました。グランfondは風景や食などを楽しみながら走る自転車の長距離イベント。26日は美幌峠をめぐる80キロのコースなど2コースと、参加者交流会を実施。27日は摩周湖や南弟子屈、屈斜路湖を走る120キロ・90キロ・60キロの3コースで大会を実施しました。今年は台湾から来道した11人の参加者をはじめ、全国各地から集まったおよそ250人の皆さんが摩周の大地を疾走。雄大な風景やおいしい地産食材のエイド食、温泉を堪能しました。

6月9日

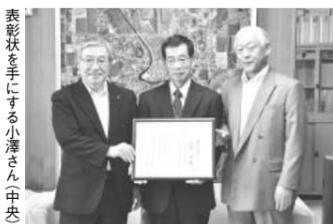
自慢の馬牛を競い合う 第66回弟子屈町家畜共進会



町とJA摩周湖共催の第66回弟子屈町家畜共進会が6月9日、町家畜共進会場で行われました。当日は21頭の乳牛と13頭の馬が集まり、その美しさを競いました。主な審査結果は次の通りです。乳牛の部▶グランドチャンピオン/ブライトランド ブラッドニツク スター リディア(坪井泰憲さん(奥春別)所有)▶ジュニアグランドチャンピオン/ブライトランド ソロモン マデイリン(坪井泰憲さん所有)馬の部▶最優秀賞/矢尖(阪口栄造さん(高栄)所有)

6月7日

長年にわたり教育の振興に尽力 小澤重さんが表彰の報告



平成16年から平成29年まで町の教育委員長を務めた小澤重さんが6月7日、役場町長室で町長へ表彰の報告を行いました。小澤さんは平成9年に町教育委員に任命され、平成16年10月から12年と4カ月間に渡り教育委員長に在任。平成29年2月から退任までのおよそ10カ月間は教育長職務代理者として教育行政の重責を担いました。表彰は長年にわたり教育の振興に尽力した功績が認められ、全国市町村教育委員会連合会から送られたもの。表彰状を手に、穏やかな笑顔での報告となりました。

6月3日

登山客が安全に楽しむために 藻琴山で登山道にロープ張り



川湯エコミュージアムセンターを拠点に活動を行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが6月3日、藻琴山登山道のロープ張りを行いました。土砂崩れが起きやすい場所や希少植物が群生している箇所などに立ち入らないよう、注意喚起を促すために毎年行われるもの。皆さん集中して作業を進め、頂上や屏風岩周辺など全7カ所に設置。また、ロープ張りのために設置されている杭の交換や、支障枝の撤去作業も同時に行われ、歩きやすい登山道になりました。

5月28日

体育館がコンサートホールに変身 ピアニストがコンサートを開催 | 美留和小



札幌を中心に道内各地で活動するピアニスト明上山貴代氏によるコンサートが5月28日、美留和小学校(伊藤賢次校長)の体育館で行われました。子どもたちに色々な体験をさせてあげたいと、町内の旅行会社「夢F.C.株式会社(藤原多美代表取締役)」の賛同により、10年前から同校で行われています。コンサートでは、バッハに始まり、ベートーヴェン、ショパン、ドビュッシーなど各時代を代表する有名な作曲家7人の作品8曲を演奏。同校の児童に加え、招待された川湯中学校(佐藤岳彦校長)の生徒もプロの演奏に聴き入り、特別な時間を過ごしました。